

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2020 年 第 21 週（5月18日~5月24日）

## &lt; 全数把握対象疾患の患者情報 &gt;

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	11 人 類型 患者 10 人、無症状病原体保有者 1 人
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1 人 類型 患者、血清型 O157
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
A 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
オウム病	1 人
五類感染症 ウイルス性肝炎	1 人 病型 B 型
カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人 菌種 <i>Klebsiella</i> sp.
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 A 群
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 無症状病原体保有者
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
梅毒	4 人 病型 早期顕症 期 2 人、早期顕症 期 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
播種性クリプトコックス症	1 人
百日咳	1 人 年齢階級 40 歳代

## &lt; 定点把握対象疾患の患者情報 &gt;

小児科及び内科定点報告疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下の状況で推移している。眼科定点報告疾患では、**流行性角結膜炎** 8 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患の報告はなかった。

- この情報に関する御質問・御意見等ございましたら、衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613 e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) まで御連絡ください。
- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

## 注目すべき疾患

### - 新型コロナウイルス感染症 -

以下は、診断日を基準に集計したものです。

表 年齢階級別週別届出数（第1週～第21週）

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計	累計
第1～16週	10	17	104	72	117	147	91	64	49	671	671
第17週	2	3	19	16	33	22	13	24	21	153	824
第18週	2	2	8	13	13	15	1	7	15	76	900
第19週	0	1	11	12	12	8	4	8	11	67	967
第20週	1	0	3	4	2	2	1	2	6	21	988
第21週	0	0	3	1	2	2	0	1	2	11	999

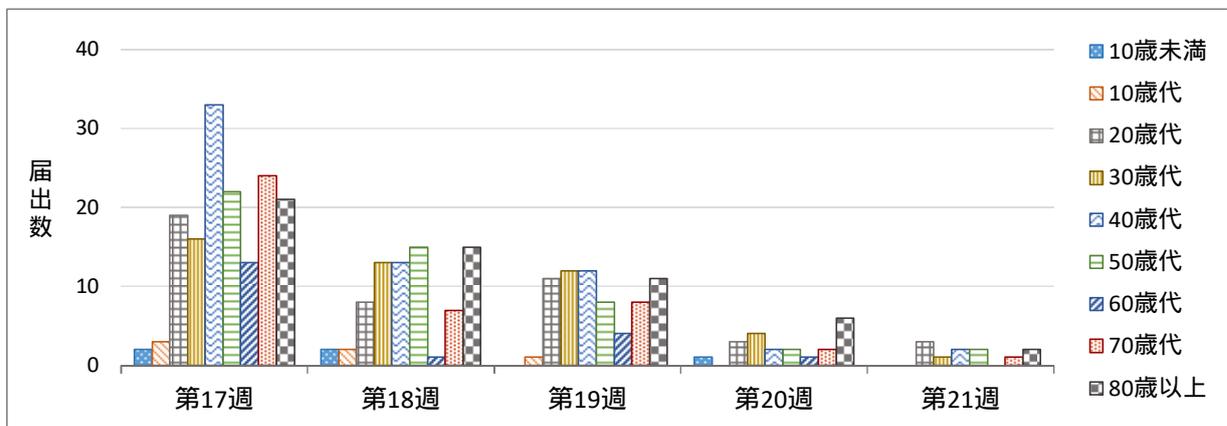


図1 年齢階級別週別届出数（第17週～第21週）

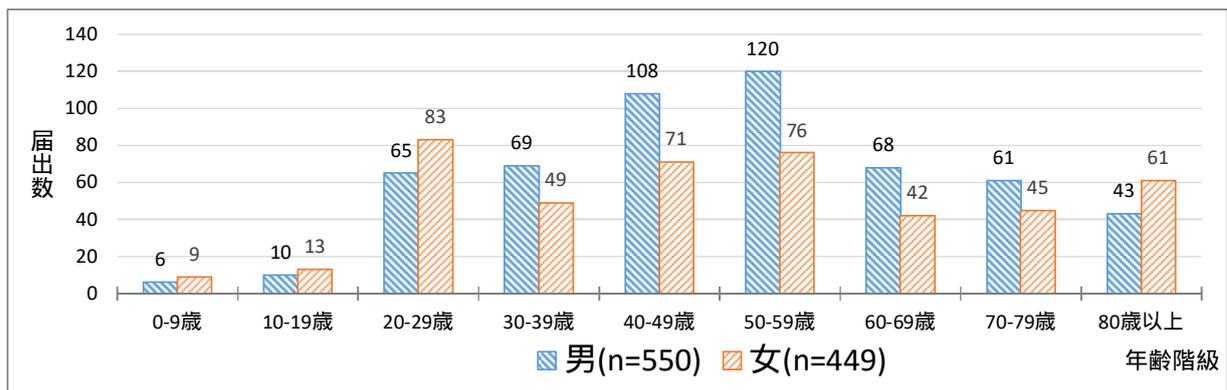


図2 年齢階級別性別届出数（第1週～第21週）

患者の詳細情報については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者一覧」をご覧ください。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第21週)

(2020年5月26日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 * 1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢		5	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	14			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎	1	15	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病	1	1	ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症		1	マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		26
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		11	侵襲性肺炎球菌感染症	1	35
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	3	水痘(入院例に限る)		8
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	24	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	4	47
急性脳炎		16	播種性クリプトコックス症	1	2
クリプトスポリジウム症			破傷風		1
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	16	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	1	9	百日咳	1	84
ジアルジア症			風しん		3
侵襲性インフルエンザ菌感染症		6	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
指定感染症	新型コロナウイルス感染症 * 2			11	999

累計は診断日で集計

\* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

\* 2 チャーター便による帰国邦人(その濃厚接触者を含む)4人を含みます。なお、記者発表資料等については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者一覧」を参照してください。

## 結核届出状況(4月分)

4月の届出総数は、患者52人、無症状病原体保有者16人の計68人であった。前月と比べると患者数は同水準であったが、無症状病原体保有者数は減少した。前年との比較では患者数、無症状病原体保有者数ともに少なかった。

表1 診断月別の届出数の推移(2019年4月～2020年4月)

	2019年*										2020年				累計**
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
<b>総計</b>	132	99	101	110	108	119	97	86	104	84	61	74	68	287	
<b>年齢階級</b>															
10歳未満	23	2	0	2	3	4	0	2	5	2	1	7	4	14	
10歳代	4	1	0	0	2	3	1	0	3	1	1	1	0	3	
20歳代	12	8	8	12	15	10	9	8	7	7	7	6	3	23	
30歳代	12	5	9	9	9	8	7	2	10	7	2	6	3	18	
40歳代	17	13	18	7	8	15	8	7	15	5	14	9	2	30	
50歳代	6	14	10	11	10	8	12	8	2	11	6	6	11	34	
60歳代	17	11	14	14	13	6	14	9	10	11	10	10	5	36	
70歳代	14	19	19	26	21	30	24	17	19	19	7	9	14	49	
80歳以上	27	26	23	29	27	35	22	33	33	21	13	20	26	80	
<b>性</b>															
男	68	54	67	65	54	71	61	50	51	54	35	40	44	173	
女	64	45	34	45	54	48	36	36	53	30	26	34	24	114	
<b>類型</b>															
患者	64	60	58	72	71	66	57	61	53	61	40	50	52	203	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
無症状病原体保有者	68	37	43	38	37	53	40	25	47	23	21	24	16	84	
<b>病型</b>															
肺結核	47	44	38	50	53	47	44	51	39	48	33	35	38	154	
肺結核及びその他の結核	3	4	8	7	3	5	7	1	7	8	3	2	4	17	
その他の結核	14	12	12	15	15	14	6	9	8	5	4	13	10	32	
疑似症患者	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
無症状病原体保有者	68	37	43	38	37	53	40	25	47	23	21	24	16	84	

\*:2019年の届出数は暫定値

\*\* :2020年1月からの累積届出数

4月に診断された68人を病型別にみると、肺結核は20歳以上の年齢階級から計38人の報告があり、80歳以上が16人で最も多かった。無症状病原体保有者は、10歳代、20歳代及び60歳代を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2020年4月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
<b>総計</b>	38	4	10	0	16	68
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	4	4
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	2	1	0	0	0	3
30歳代	1	0	0	0	2	3
40歳代	0	0	1	0	1	2
50歳代	7	0	0	0	4	11
60歳代	4	0	1	0	0	5
70歳代	8	0	2	0	4	14
80歳以上	16	3	6	0	1	26



感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2020年第21週 5月18日～5月24日)

	報告患者数																			
	-6ヵ月	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	-	-	2	-	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	-	1	4	9	5	5	4	2	3	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	167	2	5	25	18	17	16	11	11	11	8	15	3	14	-	-	-	-	-	-
水痘	9	-	1	-	-	1	1	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	10	-	-	6	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	51	1	16	22	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	11	-	-	-	-	1	-	3	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	2	-	-	-	-	-
合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 ( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第18週 (4月27日～5月3日)

令和2年5月27日

## <全国情報>

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県(0.26)、青森県(0.22)、沖縄県(0.07)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は3例と前週と比較して減少し、3道県から報告があった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**: RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第9週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.19)、宮城県(0.14)、新潟県(0.11)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.72)、佐賀県(0.65)、富山県(0.55)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第9週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.26)、新潟県(1.98)、宮崎県(1.91)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(3.75)、宮崎県(2.68)、愛媛県(2.27)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.32)、徳島県(0.17)、佐賀県(0.17)、熊本県(0.14)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は三重県(0.38)、高知県(0.36)、鳥取県(0.32)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.17)、富山県(0.14)、奈良県(0.12)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.19)、山口県(0.11)、新潟県(0.09)、徳島県(0.09)である。

**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は香川県(0.60)、石川県(0.40)、宮城県(0.33)、長崎県(0.33)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。3県から3例報告があり、年齢別では0歳(2例)、5～9歳(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2020年第18週(4月27日～5月3日)、2020年第19週(5月4日～5月10日): 通巻第22巻第18・19合併号 より

## <関東情報>

2020年 18週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	65	4	-	-	-	1	3	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	0.00	0.02	-
RSウイルス感染症	報告数	67	9	-	-	-	1	-	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	0.01	-	0.00
咽頭結膜熱	報告数	417	36	7	-	8	4	3	6
	定点当たり	0.13	0.04	0.09	-	0.15	0.03	0.03	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,973	380	55	14	28	69	53	93
	定点当たり	0.64	0.42	0.73	0.29	0.53	0.47	0.45	0.37
感染性胃腸炎	報告数	3,206	758	54	26	50	151	95	222
	定点当たり	1.03	0.84	0.72	0.54	0.94	1.03	0.80	0.88
水痘	報告数	331	65	11	6	4	12	6	12
	定点当たり	0.11	0.07	0.15	0.13	0.08	0.08	0.05	0.05
手足口病	報告数	127	27	1	2	-	11	3	6
	定点当たり	0.04	0.03	0.01	0.04	-	0.07	0.03	0.02
伝染性紅斑	報告数	289	30	1	-	2	6	7	5
	定点当たり	0.09	0.03	0.01	-	0.04	0.04	0.06	0.02
突発性発しん	報告数	992	234	14	14	16	56	22	73
	定点当たり	0.32	0.26	0.19	0.29	0.30	0.38	0.18	0.29
ヘルパンギーナ	報告数	53	8	2	-	-	1	-	5
	定点当たり	0.02	0.01	0.03	-	-	0.01	-	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	120	32	2	1	1	9	4	9
	定点当たり	0.04	0.04	0.03	0.02	0.02	0.06	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	80	23	3	1	1	4	2	1
	定点当たり	0.12	0.12	0.18	0.08	0.07	0.11	0.07	0.03
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	2	-	-	1	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.03	-	-	0.11	-	-	0.04
無菌性髄膜炎	報告数	5	3	-	-	-	1	1	1
	定点当たり	0.01	0.04	-	-	-	0.09	0.13	0.04
マイコプラズマ肺炎	報告数	51	10	2	2	-	1	-	5
	定点当たり	0.11	0.13	0.17	0.29	-	0.09	-	0.21
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

# 全国・関東情報

第19週 (5月4日～5月10日)

令和2年5月27日

## <全国情報>

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は青森県(0.11)、岩手県(0.03)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は5例と前週と比較して増加し、5道県から報告があった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第9週以降減少が続いている。都道府県別の上位2位は福井県(0.09)、徳島県(0.09)、岩手県(0.07)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.62)、石川県(0.48)、新潟県(0.37)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第9週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.74)、岩手県(1.00)、長崎県(0.95)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.21)、宮崎県(2.11)、大分県(1.75)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(0.28)、熊本県(0.16)、沖縄県(0.12)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は長崎県(0.23)、青森県(0.21)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は奈良県(0.12)、宮崎県(0.09)、長崎県(0.07)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(0.11)、三重県(0.09)、広島県(0.09)、熊本県(0.08)である。

**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は京都府(0.43)、富山県(0.40)、栃木県(0.29)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。鹿児島県から3例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、10代(1例)、60代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2020年第18週(4月27日～5月3日)、2020年第19週(5月4日～5月10日):通巻第22巻第18・19合併号 より

## <関東情報>

		全国	関東地域	2020年 19週						
				茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	24	1	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	0.00	-	-
RSウイルス感染症	報告数	26	3	-	-	1	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	0.02	0.01	-	0.00	-
咽頭結膜熱	報告数	253	12	1	-	1	4	-	6	-
	定点当たり	0.08	0.01	0.01	-	0.02	0.03	-	0.02	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,178	262	30	12	23	46	40	53	58
	定点当たり	0.37	0.28	0.40	0.25	0.43	0.29	0.31	0.21	0.26
感染性胃腸炎	報告数	2,312	601	45	15	35	121	70	173	142
	定点当たり	0.73	0.64	0.60	0.31	0.66	0.76	0.54	0.67	0.64
水痘	報告数	233	43	3	3	3	13	5	9	7
	定点当たり	0.07	0.05	0.04	0.06	0.06	0.08	0.04	0.04	0.03
手足口病	報告数	116	25	1	1	-	7	3	7	6
	定点当たり	0.04	0.03	0.01	0.02	-	0.04	0.02	0.03	0.03
伝染性紅斑	報告数	166	23	3	1	1	5	2	7	4
	定点当たり	0.05	0.02	0.04	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.02
突発性発しん	報告数	746	191	8	20	16	29	22	58	38
	定点当たり	0.24	0.20	0.11	0.42	0.30	0.18	0.17	0.23	0.17
ヘルパンギーナ	報告数	40	6	-	-	-	2	1	1	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01	0.00	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	107	32	3	2	3	4	3	10	7
	定点当たり	0.03	0.03	0.04	0.04	0.06	0.03	0.02	0.04	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	76	33	7	1	2	6	4	1	12
	定点当たり	0.11	0.16	0.41	0.08	0.13	0.15	0.12	0.03	0.24
細菌性髄膜炎 #2	報告数	4	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	36	7	-	2	2	1	-	2	-
	定点当たり	0.08	0.09	-	0.29	0.22	0.09	-	0.08	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2020年 > 感染症の流行状況 2020年 第21週

## 感染症発生動向調査 2020年

- [感染症の流行状況 2020年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第20週](#)

## 感染症の流行状況 2020年 第21週

2020年第21週（5月18日～5月24日）の要点 令和2年5月27日

定点把握対象疾患の定点当たり報告数は、例年並み以下でした。引き続き、外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン